

こんな訪問介護事業所なかなか無い！！

ほんの少しの気付きで利用者様の人生が変化した！！

総力取材！ヘルパー支援の1部始終

突破口となったのは昔の趣味への気付きだった

昨年7月頃に、要介護1、団地での独居の女性利用者様のお掃除と調理のサービスをお願い出来ないかとのご相談が有りました。その方はDPC的にはほぼ自立されているのですが、何に関してもやる気が出なく、家族とも疎遠で地域との関わりも全く無い方でした。若い頃は生花や和裁洋裁等手先を使うような趣味をお持ちだったようですが今では全く行われていないとの事。8月初めからサービス開始となりました。開始当初は回数も少なくこちらから話しかけても「うん。いや。わからない。知らない。」等の返答しか有りませんでした。共に行う調理や掃除も全く意欲が湧かずサービス中はずっとテレビを観て過ごされておりました。ヘルパーが寝室の掃除機がけをしている時にふとパッチワークに使うための端切れが大量に閉まつている所を発見しました。本人に昔パッチワークとかやっていましたか？とお伺いすると、昔はこんなのも作ったりしたんだよと押し入れの中からたくさん作品を出してきてくれて見せてくださいました。それからのサービスでは毎回こんなのも出来るんだよ等と少しずつ意欲的に会話してくださるようになってきました。そのようにして徐々に関係性が深まってきて、パッチワークの作品を押し入れに閉まつたままにしておくのではなく整理して飾りませんか？と提案し共に行う家事、そして意欲が高まつてきた所で一緒に調理もしてみませんか？と提案すると「やってみようかな。出来なくても笑わないでね」と意欲的に話されました。

ヘルパーが介入するようになってから社会的に

ヘルパーが介入し始めてサービス中に笑顔が多くなり当初とは別人のようになってきました。そんな時回覧板の中に町内会のラジオ体操参加の案内チラシが入っていました。これまでそのような活動には一切関わりを持つてこなかった方でしたが、健康のために行ってみようかしら」とヘルパーも耳を疑うような一言を話されました。ヘルパーもそれはとても良いことだとおすすめしてその翌月から週2回のラジオ体操に参加されるようになりました。サービスの度に様子を伺いすると「みんな私より歳上なのに元気なのさ〜私も負けてられないわ〜」と話されたりしていました。ラジオ体操を初めて3ヶ月程経つたある日この方からヘルパーサービスのキャンセルの連絡が来ました。今までキャンセルなど殆どなかった方だったので理由を尋ねると「ラジオ体操仲間が行っているデイサービスの見学に行くことにしたの」と言われびっくりしました。あんなに家から出ることも介護サービスを利用することも拒んできた方がまさかデイサービスの見学に行くと言われるなんて…。見学後更に驚いたのが「週一回行ってみることにしようかな」との言葉。嬉しいようなびっくりしたような…。それから現在まで休む事無くデイサービスにも通われていて余暇活動で作成した作品をヘルパーに見せてくれていた時の笑顔は太陽のように眩しい最高の表情です。

感動の秘話

無事にデイサービスに通うようになった女性利用者様ですが、ある日ケアマネージャー様から連絡があり、本人からデイサービスに行けるようになったのはヘルパーさんのおかげだと言っていました。この報告がありましたとの報告がありました。ヘルパーさんとの会話が楽しくなってきたんだ〜ほんとに感謝だわ〜とも話していたようです。ヘルパーの仕事は、ただ家事をしたり、ただ家事やお手伝いさ政婦や利用者様では無く、利用者様が在宅生活を続けていくためのパートナーだと思っております。今後も利用者様の在宅生活を支えていけるように全力でサービスを行っていきたいと思っております。